

リコー三愛グループ

三愛会 会誌

No.173 2024

リコーグループ

三愛オブリグループ

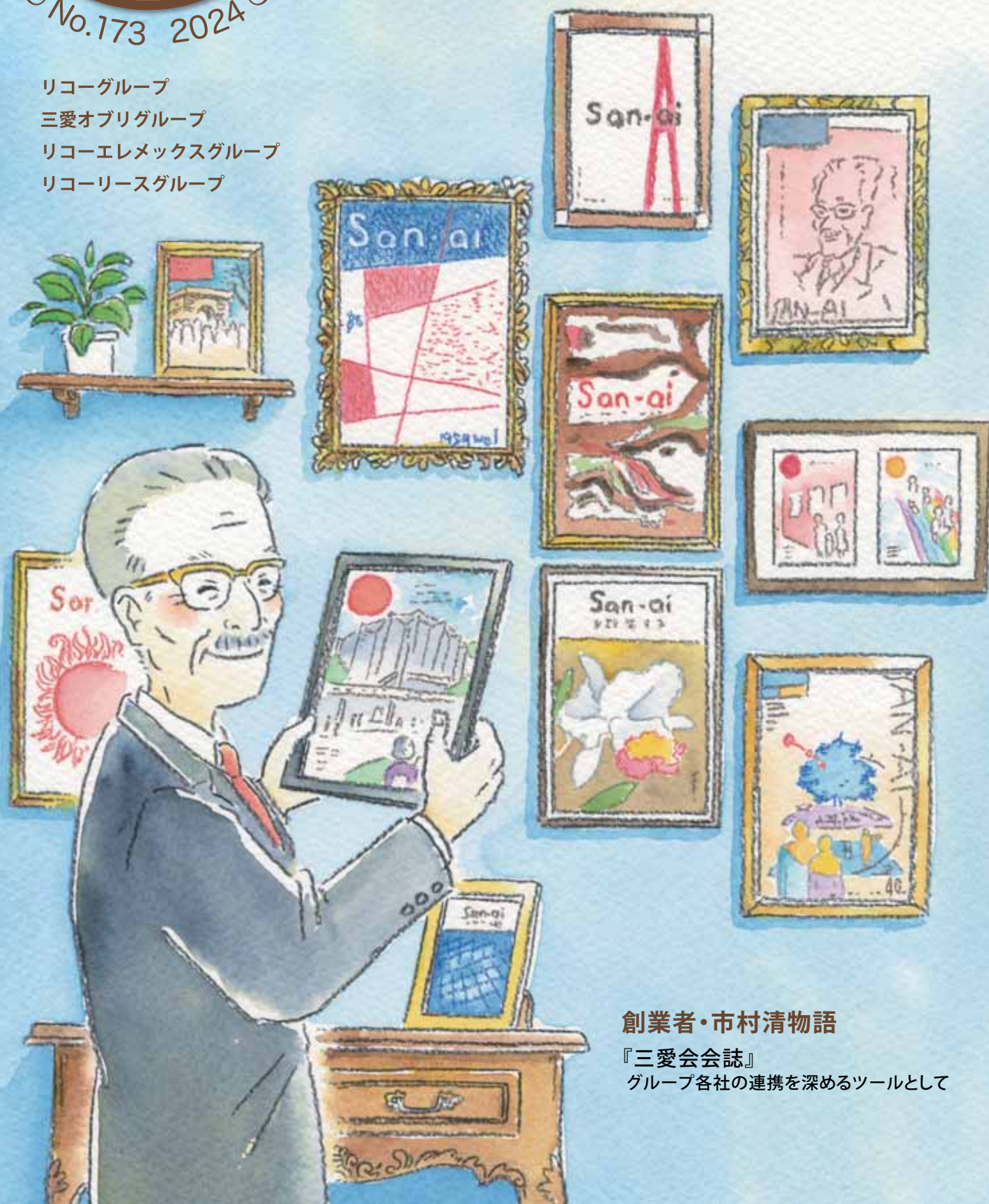
リコーエレメックスグループ

リコーリースグループ

特集 『三愛会会誌』

1954年の復刊から70年の歩み

1954年に『San-ai』と改称して復刊した会誌が今年で70年目を迎えました。創業者・市村清が会誌に託した思いは何だったのでしょうか。創業者のレガシーが詰まった『三愛会会誌』の復刊からの70年を振り返ります。



創業者・市村清物語

『三愛会会誌』

グループ各社の連携を深めるツールとして

人々の生活と産業を支えるパートナーとして



私たちは、創始者 市村清が唱えた「人を愛し 国を愛し 勤めを愛す」の三愛精神を礎に人々と地域社会、
産業をつないできました。これからはその力を、持続可能な社会のために向けることが求められています。

培ってきたつながりを生かしながら、新たな事業領域にも挑戦し、

柔軟な対応力で課題解決に取り組み、人々の生活と産業を支えるパートナーとなることを目指します。

顧客 地域 社会と共に良い関係を結ぶという思いを「オブリ(Obbli)」の名に込めて。私たちは、「三愛オブリ」です。

Obbli

三愛オブリ株式会社

CONTENTS

02 三愛会第5代会長 桜井正光氏 逝去

「お別れの会」を開催

05 創業者・市村清物語

『三愛会会誌』グループ各社の連携を深めるツールとして

06 特集

『三愛会会誌』復刊 1954 から 70 年の歩み

13 Group Information

リコー／リコーインダストリー／リコークリエイティブサービス
三愛オブリ／リコーエレメックス／リコーリース／テクノレント

17 三愛会プラザ

創業者市村清顕彰活動／創業者墓参／市村清の新たな動画を公開
支部の活動報告／三愛会社友会／愛の手委員会からのお知らせ 他

21 三愛会会員会社一覧

三愛会／リコーグループ／三愛オブリグループ
リコーエレメックスグループ／リコーリースグループ
その他の会社・団体



三愛精神

表紙の言葉

この会誌はたくさん発行されているんだなと思っていましたが、なんと 70 周年と聞いて改めてびっくりしました。そんな歴史ある会誌の表紙を担当させてください、とても光栄です。

(作者 佐田みそ)



三愛会第5代会長

桜井正光氏 逝去

株式会社リコー元会長で三愛会第5代会長を務められた桜井正光氏が2024年1月24日、急性気管支肺炎により逝去されました。享年82歳。ここにリコー三愛グループ社員一同、心から哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。



山下良則会長（中央）、大山晃社長（左）をはじめリコー役員による献花

「お別れの会」を開催

600人を超える参会者が別れを惜しむ

5月13日、株式会社リコー主催の「お別れの会」が帝国ホテル（東京都千代田区）にて執り行われました。前日までの真夏日を思わせる暑さから一転、未明から降り出した雨は、桜井さんとの最期の別れを惜しむ涙雨となりました。午前11時、会場となった孔雀の間には白いカーネーションを基調とした献花台が設けられ、まっすぐこちらを見つめる桜井さんの遺影は、「来てくれてありがとう」と低音ボイスで語りかけているようでした。

会場では山下良則リコー代表取締役会長と大山晃リコー代表取締役社長執行役員が二人が参会者を出迎え、故人に代わって生前のご厚誼に感謝し、桜井さんを偲んで言葉を交わしました。小池百合子東京都知事をはじめ、経済三団体の幹部の皆さま、お取引先さま、仕入先さま、金融機関、業界団体、早稲田大学関係、市村清新技術財団関係、リコーを退任された役員の皆さまなど、参会者は600人を超え、桜井さんの幅広い交友関係がうかがえました。皆さん、会場の正面に飾られた桜井さんのリラックスした笑顔の写真と座右の銘「当知是処 即是道場」のパネル、「桜井正光のあゆみ」と題された会場の壁いっぱいの年表に見入り、在りし日の桜井さんを偲んでいました。

ご挨拶（抜粋）

本日はご多用中にもかかわらず弊社元会長 桜井正光の「お別れの会」にご参加賜り、誠にありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。

桜井正光は1942年1月8日、東京都出身。早稲田大学第一理工学部を卒業後、株式会社リコーに入社し、技術畑を中心に、海外販売、資材、研究開発など広範な部門を経験しました。海外での功績が称えられ、名誉大英勲章第三位、フランス・レジオン・ドヌール勲章オフェシエを授与されました。

1996年、代表取締役社長に就任。複合機のデジタル化とカラー化の推進、海外事業の拡大により2006年度には連結売上高を2兆円台に乗せ、在任11年間で倍増させました。社員への意識改革としては「フアイヤー文化」を提唱。「仮説に基づき、まずは行動してみる」という考え方を浸透させました。また、長期的観点で地球環境の保全を重要とし、1998年には世界に先駆け、環境経営を提唱。環境保全と利益創出の同時実現という考えのもと、サステナビリティ経営を推進しました。

胸に去来する思い出は尽きませんが、ここに故人が生前皆様から賜りました数々のご厚情、ご厚誼に対しまして、謹んで御礼申し上げます。

株式会社リコー 代表取締役会長

代表取締役社長執行役員 大山晃

山下良則



会場正面に飾られた桜井元会長の写真、座右の銘「当知是処 即是道場」のパネルと「桜井正光のあゆみ」と題された年表



会場の壁面いっぱいに設置された年表の一コマ一コマをたどりながら、思い出を語り合い、故人を偲ぶ参会者の皆さん



近藤史朗三愛会前会長（左）とNHK 稲葉延雄会長（元リコー取締役）

座右の銘は「当知是処 即是道場」

（まさに知るべしこの処、これすなわち道場なり）

「当知是処 即是道場」は、修行とは仏堂の中だけのことではない。どこでも、何をしてもそれがすなわち修行であり、その場その場を大切に、という意味です。この教えの通り、常に自分の周りで起こっていることに対し「なぜ？」「どうして？」と疑問を持ち、物事の本質を見出す姿勢を大切にしてきました。

例えば、欧州の販売会社へ赴任していたときのこと。営業担当者が製品の性能を熱心に説明しているのに、お客さまは全然関心を示しません。なぜお客さまに伝わらないのだろうか、どうすればいいのだろうか。営業担当者たちとも議論を重ねた結果、お客さまの立場に立って考えてみるのが大切だということに気づいたのです。異国の地の営業現場も貴重な修行の場となりました。

リコー社長に就任した1996年当時、国内はバブル崩壊後の景気減速、IT化の進展、グローバル大競争時代の到来、アジア経済の急速な伸長、少子高齢化や産業構造変化の加速など世の中が大きく変わる変革期にあり、桜井さんはこの構造改革期を経営者として無我夢中で走り続けました。

総力を結集しての事業構造の改革や商品力の強化、チャネルの拡充を図る一方で、社員の意識改革として「ファイヤー文化」を提唱。新しい市場や事業を創造し、市場を創り上げるためにも、常にお客さまの起点に立ち、お客さまの潜在ニーズやご不満を掘り起こし、新しい事業へのヒントとすることが必要であると考えたからです。

主力の複合機の開発では効率化の追求、収益性の向上などに努め、在任11年の間にグループの連結売上高は倍増の2兆円超えを記録。常に時代の先を読み、一貫して物事の本質を追求し続け、リコーブランドをグローバルブランドへと成長させました。

2007年、社長職を近藤史朗氏に託して会長就任、同時に三愛会会長、社団法人（当時）経済同友会代表幹事に就任しました。業界のしがらみにとらわれない提言や活動を行うなど、国や企業の在り方を積極的に発言し、より良い経済社会の実現や国民生活を充実させるための諸課題に率先して取り組み、国民生活の豊かさと世界経済の調和ある発展に尽力しました。まさに、日本の経済界を全力で走り続けた人生でした。



略歴

1942年 1月8日生まれ
 1966年 早稲田大学第一理工学部 卒業
 株式会社リコー入社
 1984年 RICOH UK PRODUCTS LTD. 取締役社長
 1990年 株式会社リコー 資材本部長
 1992年 同社 取締役
 1993年 RICOH EUROPE B.V. 取締役社長
 1994年 株式会社リコー 常務取締役
 1995年 同社 研究開発担当
 1996年 同社 代表取締役社長
 2007年 同社 会長執行役員
 2013年 同社 特別顧問
 2017年 同社 退任

主な団体、公職等

2000年 社団法人日本オプトメカトロニクス協会
 理事・会長
 2001年 朝日生命保険相互会社 総代
 2002年 株式会社ミレアホールディングス 社外取締役
 (現 東京海上ホールディングス株式会社)
 2004年 社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
 理事・会長
 2005年 社団法人日本品質管理学会 理事・会長
 コカ・コーラウエストジャパン株式会社
 代表取締役会長
 (現 コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社)
 2007年 三愛会会長
 株式会社サガテレビ 社外取締役
 社団法人経済同友会 代表幹事
 (現 公益社団法人経済同友会)
 オムロン株式会社 社外取締役
 2010年 一般社団法人プラチナ構想ネットワーク
 発起人・幹事
 2011年 ヤマハ発動機株式会社 社外取締役
 2013年 公益財団法人新技術開発財団 会長
 (現 公益財団法人市村清新技術財団)
 2014年 理化学研究所と親しむ会 理事・会長
 (現 理研と未来を創る会)
 JCLP (日本気候リーダーズ・パートナーシップ) 代表

主な栄誉

2003年 名誉大英勳第三位 (C.B.E. *)
 * Commander of the British Empire
 2006年 フランス共和国
 レジオン・ドヌール勲章オフィシエ (4等) 受章
 2007年 ベストドレッサー賞 受賞
 (一般社団法人日本メンズファッション協会主催)
 2010年 早稲田大学 名誉博士学位
 2011年 デミング賞本賞 受賞
 (一般財団法人日本科学技術連盟主催)



創業者・市村清墓参(東京都港区・賢崇寺にて) 最前列左から3人目が桜井会長(2010.12.14)



市村清没後40年記念法要にて挨拶する桜井会長(2008.12.14)



三愛会東京支部幹部新年会にて挨拶する桜井会長(2013.1.10)



三愛会合同慰霊法要に参列した桜井会長(前列左から8人目)(2013.5.24)

三愛会第5代会長に就任 リコー三愛グループの使命を説く

2007年、三愛会第5代会長に就任した桜井さんが最初に行ったのは、創業者・市村清の三愛精神「人を愛し 国を愛し 勤めを愛す」を社内外に積極的に発信することでした。そして、リコー三愛グループの使命を「『三愛精神』に立脚し、社会に対する責任を忠実に果たしながら、企業本来の役割である企業価値の増大や、利益の創出を図り社会に貢献すること」と定め、三愛会がこれまで実践してきたさまざまな活動の重要性を説くなど、創業者が築いたグループの持続可能性の追求に尽力されました。

グループ間の交流を深めるために実施されている三愛会の活動にも積極的に参加、三愛会のホームページ開設やリコー三愛グループの広報誌の発行も桜井会長の時代にスタートしたものです。

急激な時代変化の中で、リコー三愛グループが今なおしなやかに存在し続けているのは、桜井さんをはじめとする歴代会長の強いリーダーシップに他なりません。グループ社員一同、改めて心から感謝の意を表します。

『三愛会会誌』 グループ各社の連携を深めるツールとして

『自蹊会会報』

1944年8月、市村は自身が経営する7社構成で「自蹊会」を発足しました。戦争という緊迫した状況下で、各社間の連携や意思疎通を強化することが重要であると考えたからで、そのためのツールとして機関誌『自蹊会会報』も発行しました。しかし、戦火が激しくなり、会報は4号で中断されました。



『三愛』

1945年8月、終戦。翌46年4月、市村は「自蹊会」を「三愛会」と改め、グループ機関誌『三愛』を発行、その誌上で「三愛精神」（人を愛し 国を愛し 勤めを愛す）を発表しました。



『機関誌『三愛』の意図は「我々と志を同じくし、憂いをつなぐ者の間に育まれる友情から、互いに語り合う場所を提供すること」にある。

「従業員は使用人ではなく、事業の協力者である」という信念を持って事業経営に携わってきた市村にとっての最大の望みは、グループ会社とその社員たちが三愛会や機関誌『三愛』を介して強いきずなで結ばれることでした。

ザラ紙に印刷されたわずか16ページの冊子でしたが、毎号、市村の所感、職場報告、随筆、そして社員たちの俳句や短歌も掲載されるという充実した内容

で、制作者たちの熱い思いが伝わってきます。しかし、グループ全体の組織改革などの諸問題により、49年11月の第12号を最後に休刊を余儀無くされました。

『San・ai』

1954年4月、復刊1号『San・ai』が発行されました。

『三愛会会誌』を復刊する



ことは、久しく私の考の中にあつたことであるが、それには、まず三愛会そのものの機構を改め再出発しなければならぬので、却々その機が得られなかった。それ故、この度会誌が再刊されるということは、三愛会が漸くその面目を新にする時が来たということである。（復刊に際して 会長 市村清）

市村は復刊への喜びを込めて巻頭言を記しました。そして、さらに、「三愛会はグループ各社を互いに結び合う紐帯である、会誌はそのためのツールであり、会誌が立派に成長して有為なる機関誌になるか否かは、各社社員たちの心構えにかかっている」とも述べています。

* * *

今年、『三愛会会誌』が復刊から70年目を迎えました。その姿や目的は時代に応じて変化してきましたが、リコー三愛グループの社員の皆さんや編集に携わった方々の力を得て、今日まで連綿と続いてきたのです。

この70年の歴史を天上の市村も温かく見守っていたに違いありません。

市村清フォトアルバム

1954年正月、三愛会合同新年会を開催

1954（昭和29）年1月4日、大森の理研光学工業において、三愛会合同新年会が開催された。

当時の三愛会傘下企業は理研光学工業（現リコー）、三愛石油（現三愛オプリー）をはじめ全8社。

この年、理研光学は、50年に発売したカメラ「リコーフレックス」の大ヒットにより工場を新築（4月完成）、カメラの大量生産体制を確立した。三愛石油は、日航機に対する給油作業が従来の米国スタンダード石油から三愛石油に移行されることになり、2月8日、両社間で移譲式が挙行された。そして、4月、会誌が復刊した。



挨拶をする市村清



余興の福引大会で、当選者に賞品を手渡す市村。左隣は幸恵夫人

特集

『三愛会会誌』

復刊1954から70年の歩み

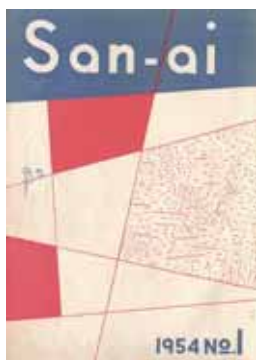
「三愛会会誌」は三愛会会員会社の皆さんに向けたグループ情報誌で、現在、リコー三愛グループや創業者・市村清に関する情報などを掲載して、年2回発行しています。

前身は1944年に市村清が発刊した『自隣会会報』で、46年に『三愛』に改称、49年までに12号が発行されて休刊となりました。54年に『San-ai』と再び改称して復刊し、今年で70年目、通算173号を発行しました（86年、三愛会創立40年を機に現在の『三愛会会誌』に改称）。『San-ai』第1号の編集後記に復刊に至った経緯について、「いま邦家大事の秋に当り各社事業の更なる飛躍進展を期する為に市村会長はこの度三愛会を有為なものに改革しようというご意向を表明され、ここに三愛会会誌も復刊することになった」と記されています。

そこで今号は、三愛会の歴史のターニングポイントとなった号や、会誌ならではのコーナー等々をご紹介します。復刊からの70年を振り返ってみたいと思います。

No. 1 1954

復刊に際して
市村清



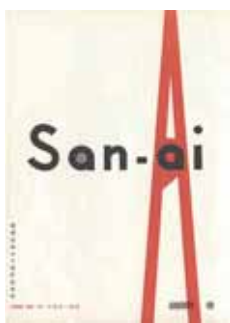
復刊に際して、市村は「『San-ai』は各社の動静を知らせ合い、意見を発表し合い、親睦を語り合う場である」と述べた。また、「私達はどこで働いている」「私達のつくっている品・取扱っているもの」と題したページでは、自分の働く会社はどんな所なのか、三愛会とはどんな会なのかなどが紹介されている。

『San-ai』 No. 12 1956

理研光学工業創立20周年

1936年に理研感光紙を設立し、38年に理研光学工業と社名変更した（61年、リコーに社名変更）。創立以来、感光紙とカメラの製造・販売で業績を伸ばし、50年に発売した二眼レフカメラ「リコーフレックス」の大ヒットはカメラブームの先駆けとなった。

12号では、創立20周年を迎えた理研光学工業の歴史をメインに、リコーカメラの世界展開のためにアメリカ市場視察に出掛けた市村の手記「アメリカの印象とリコーカメラの将来」なども掲載された。



『三愛会会誌』発行年表

『自隣会会報』1944～45年 全4号発行
『三愛』1946～49年 全12号発行

『San-ai』		西暦 (元号)	号数	主な記事、特集、対談など
1954 (S29)		1	1	復刊に際して（市村清）
2	2	2	2	先ず理研光学の諸君へ（市村清）
3	3	3	3	三愛の諸君へ（市村清）
4	4	4	4	三愛石油の諸君へ（市村清）
5	5	5	5	巻頭言・昭和30年の年頭に当って（市村清）
6	6	6	6	私の歩んだ道（第1回）僕の牛を返せ（市村清）
7	7	7	7	理研感光紙を發明した頃（桜井季雄）
8	8	8	8	三愛会トピック（その1）三愛石油の新給油施設竣工
9	9	9	9	経営者はいかに従業員を指導するべきか（市村清）
10	10	10	10	三愛10周年記念特集…三愛10周年記念日に際して（市村清）
11	11	11	11	今とこれから・アメリカに伸びゆくリコーカメラ
12	12	12	12	理研光学工業創立20周年に際して（市村清）
13	13	13	13	アメリカの印象とリコーカメラの将来（市村清）
14	14	14	14	私はこうして販売外交をした（市村清）
15	15	15	15	微笑ましいボーナス風景（市村幸恵）
16	16	16	16	世界の市場から市場へ〈欧米出張日誌〉（市村清）
17	17	17	17	大きく開いた扉から（第1部）帰朝して想う（市村清）
18	18	18	18	中南米諸国を訪ねて（市村清）
19	19	19	19	三愛石油創立5周年記念式辞（市村清）
20	20	20	20	座談会…頼もしい日本人 （田畑太郎・邱永漢・脇村義太郎・市村清）
21	21	21	21	理研光学増築落成記念特集（現リコー本社 会長母校に講堂寄贈（三愛会 藤井テツ）
22	22	22	22	対談…（石原慎太郎・市村清）
23	23	23	23	母（市村清）
24	24	24	24	対談…（升田幸三・市村清）
25	25	25	25	対談…（有吉佐和子・市村清）
26	26	26	26	金銀の筏〈混乱期の天皇家と宮家〉（市村清） 〈カラー〉理研光学大森本社工場 鼎談…新製品の前途に期待大きい「理研光学工業」 （大神一・飯田清三・市村清） 対談…愛と事業（五島昇・市村清） 万愛会と市村学校（佐藤正忠） 反射鏡…逆張り、人の和、牽引力〈日本経済新聞〉



『市村清追悼』号 総116ページ

1968年12月16日、リコー三愛グループ創業者・市村清逝去。翌年、市村の誕生日である4月4日に追悼号を発行した。表紙は市村が好きだった画家・奥村土牛氏によるもの。田中角栄、大鵬幸喜、中曽根康弘の各氏をはじめ、生前親交のあった多くの著名人から追悼メッセージが寄せられた。また、築地本願寺での葬儀の模様や妻・市村幸恵の手記「夫 市村清とともに」も掲載されている。



特集・出苑

対談ゲストは石坂泰三氏

リコーの無配転落後一時休刊となっていたが、早期に復配をし復刊。表紙は、発行日の1月1日と「特集・出苑」にマッチした真つ赤な太陽のイラストを配した。

また、財界の第一人者でもある経団連会長石坂泰三氏と市村との対談「資本自由化の出発に備えて」を掲載。国際競争の激化や実力主義の厳しさが要求される時代となるなか、「自由化は歓迎だ」との決意を新たにする両氏の元氣あふれる内容になっている。

TOPICS

多彩な顔ぶれ

寄稿、随筆・エッセイや三愛会会長との対談など、誌面には数多くの著名人が登場。特に市村会長時代の顔ぶれは今では考えられないほど豪華なものであった。

石原慎太郎 (作家・政治家)：対談 (No.20 1958)

司馬遼太郎 (作家)：随筆 (No.40 1962)

松下幸之助 (実業家)：対談 (No.50 1964)

平岩弓枝 (作家)：エッセイ (No.55 1968)

吉永小百合 (女優)：随筆 (No.57 1968)

大山康晴 (将棋棋士)：対談 (No.88 1980)

三屋裕子 (元全日本女子バレーボール・ロサンゼルス五輪代表)：対談 (No.93 1980)

桐島洋子 (作家)：寄稿 (No.116 1995)

寛仁親王 (皇室)：寄稿 (No.125 2000)

ほかに

森光子 (女優)

中曽根康弘 (政治家)

邱永漢 (実業家・作家)

升田幸三 (将棋棋士)

有吉佐和子 (作家)

五島昇 (実業家)

室生犀星 (詩人・作家)

石坂泰三 (経団連会長4期)

中村メイコ (女優・歌手)

曾野綾子 (作家)

安岡章太郎 (作家)

源氏鶏太 (作家)

山崎豊子 (作家)

野坂昭如 (作家)

星新一 (作家)

遠藤周作 (作家)

川上哲治 (野球人)

など多数 (敬称略)



星新一氏の三愛石油取材記 (No.54 1965)



森光子氏との座談会 (No.39 1962)

『San-ai』

'71 (S46)				'70 (S45)			'69 (S44)			'68 (S43)				'65 (S40)		'64 (S39)				西暦 (元号)																																														
68	67	66		65	64	63	62	61		60	59		58	57	56		54	53	52	51	50	49	号数																																											
座談会…生きた教育を考える (島崎敏樹ほか)			※制作の基本方針…今後は会誌を「対外向けPR」専門誌として制作する。67号より右開き、縦書きとし、内容を一新	自己との対談ー私の経営的思考ー (館林三喜男)			詩…言葉の槍 (谷川俊太郎)			対談…人との経営 誠実はすべてに通ず (高田好胤・館林三喜男)			特集…万博リコー館			対談…コンテナリゼーションとコンテナ・リースの企業化 (織田政夫・今泉耕吉)			対談…ホテルと観光事業 (五島昇・市村清)				東京オリンピックに活躍するリコー製品…事務機とカメラー		対談…中部経済圏とその総合開発 (鈴木亨市・市村清)		世界構造の転機に立つて (長洲二)		対談…航空輸送の今日と明日 (菅野義丸・市村清)		リコー三愛グループ合同入社式		※休刊 1965年9月		※復刊 1968年1月		座談会…実践奮闘記 リコーはどうやって再建したか (リコー中堅幹部)		リコー三愛ビル開館披露		対談…期待されるサラリーマン像 (玉置明善・市村清)		対談…「私」を語る (川上哲治・市村清)		随筆…心をとらえた詩 (吉永小百合)		特集…銀座昨日今日明日 銀座闘魂記 (市村清)		※創業者・市村清逝去		市村清追悼		対談…これからの経営と革新 (鹿内信隆・館林三喜男)		座談会…三愛会新会長を囲んで (小田島弘・館林三喜男ほか)		皇太子殿下リコーご視察		第1回市村賞贈呈式		対談…明日を拓く経営 (牛尾治朗・館林三喜男)		情報化社会の展望		市村清実践哲学	

『館林会長追悼』号

1976年10月、館林三喜男第2代三愛会会長逝去。同年12月、第81号を館林会長追悼号として発行した。

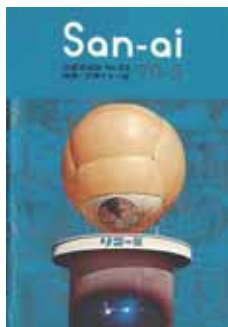
リコー三愛グループ合同追悼式の様子や、自らの経験や哲学をまとめた「館林語録」が掲載された。



特集・万博リコー館

アジア初の万博への参加を決め、1番に出展申請をした市村だったが、残念ながら自ら万博会場に立つことはかなわなかった。

63号はリコー三愛グループ・リコー館を中心とした万博特集で、リコー館の全貌が表紙や本文カラーページで紹介された。



創刊30周年記念号

特集…本誌に見る30年 三つの愛のハーモニー

第70号から第89号までA4版で制作、『三愛会会誌』では初めてのことであった。

1976年は、『San-ai』の前身である『三愛』第1号発行から30年目に当たることから、30周年記念号として第80号が発行された。さまざまな記念企画や、75年12月から始まった「愛の手募金運動」の特集記事などが掲載された。



'88 (S63)		'87 (S62)	'86 (S61)	'84 (S59)	'83 (S58)	'82 (S57)	'81 (S56)	'80 (S55)	'79 (S54)	'78 (S53)	'77 (S52)	'76 (S51)	'75 (S50)	'74 (S49)	'73 (S48)	'72 (S47)																																					
97	96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	80	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69																									
特集…企業と家庭を考える		特集…女の時代を考える		特集…人を育てる		特集…三愛会会誌の歴史（復刊1号〜93号）		特集…リコー三愛グループ 創業の精神とともに40年 （小野清子・三善信一）		対談…スポーツ万歳 スポーツがはぐくむ人間関係 （内田一臣・三善信一）		※経費見直しと表紙・内容の刷新。B5判に戻る 対談…文化を考える 日本の美徳の再発見		対談…集団を愛する心 明日の若人をどう育てるか （永畑道子・三善信一）		母を思ふ一念が原動力だった（市村清）		特集…おせつかいと思ひやり 特集…模倣と創造		座談会…男が包丁を握るとき（江上栄子ほか） 特集…友情		特集…ゆとり		特集…教養を考える		特集…野心 見直される若いエネルギーを探る		三愛精神（英語版） 館林会長追悼		創刊30周年記念特集 三つの愛のハーモニー		「カラー」グループ女子社員制服／制服今昔		特集…「女のくせに」と言われて		特集…座談会 嵐の中でも帆を張って（堀江謙一ほか）		特集…「燃える」		特集…ホンモノをみつつけよう!!		黒い弾丸!! 日本一の座に（リコーラグビー部）		特集…くたばれスランプ!!		特集…セールスに生きる!		特集…あるく		※編集方針…リコー三愛グループの総合社内報とする 70号よりA4判になる		座談会…情報システムの限界と可能性（林四郎ほか） 未来のリコー三愛グループ	

100号発刊にあたって

復刊100号という節目にあたり、三善信一第3代三愛会会長は冒頭において「市村会長は三愛会とその会誌に何を望んだか、会誌一〇〇号発刊を機に改めて考えていただきたい。会長の精神を生かし、今後も各社を結ぶより強い紐帯となるよう期待する」と述べた。

長寿シリーズが次々とスタート

1990年代初め、新シリーズが次々と登場、その中には20年以上続いたシリーズや名称を変えながら今日まで続くシリーズも少なくない。

No.103 (1991)

「創業者・市村清物語」

(アタマの中までオシャレでした)

「社長インタビュー」

(三愛石油・伊東義晃社長)

「仲間たち・集う」(ヨットマン集う)

No.108 (1993)

「三愛会 PLAZA」

No.109 (1993)

「ぐるーぷ Information」

No.110 (1993)

「おすすめスポット」

(私のおすすめスキー場)



特集・愛
とともに創刊40年

三愛会が創立40年を迎えた。これを機に会誌の名称を『San·ai』から『三愛会会誌』と改めて、第93号を創立40年、第94号を創刊40年の記念号として発行さ



特集・リコー三愛グループ
創業の精神とともに40年

『三愛会会誌』

『San-ai』

10



『三愛会会誌』

No. 126
2000No. 125
2000

『三愛会会誌』

No. 105
1992

初の新入社員歓迎号

1992年度入社の新入社員に向けて「入社おめでとう新しい仲間たち」と題した歓迎号を発行。冒頭に三善三愛会会長のメッセージを配し、創業者・市村清や三愛会という組織について紹介する内容になっている。

以降、毎年3月にグループの紹介を目的とした新入社員歓迎号を発行、1995年まで続いた。



市村清 生誕百年記念特集号

特集・市村清生誕100年記念行事

創業者・市村清の生誕100年を記念して2号にわたり記念号を発行した。

第125号では寛仁親王殿下、牛尾治朗氏、邱永漢氏など著名人による寄稿、「写真でつづる 創業者・市村清の生涯」、市村の下で勤務した経験のある元社員たちによる座談会などを掲載、第126号では市村の誕生日の4月4日にリコー大森本館ホールで開催された記念式典の様子が掲載された。

TOPICS

市村清の生涯を“まんが”で紹介

『三愛会会誌』では、これまでにNo.102(1992年)とNo.125(2000年)の2回、市村清の生涯をまんが化しており、いずれも市村について分かりやすく描かれていて、よく理解できたと読者の皆さんから好評を得た。

なお、No.125版はフルカラーにリニューアルされ、現在三愛会ホームページで公開されている。



No.102 (1991年)
『市村清の生涯 純真・誠実はどうして育った』
構成・画 橋本 哲氏



No.125 (2000年)
『まんが 市村清物語』
構成・画 すぎうらサイキ氏

'16 (H28)	'15 (H27)	'14 (H26)	'13 (H25)	'12 (H24)	'11 (H23)	'10 (H22)	'09 (H21)	'08 (H20)	'07 (H19)	'06 (H18)	'05 (H17)	'04 (H16)	'03 (H15)	'02 (H14)	'01 (H13)	2000 (H12)	'99 (H11)																				
157	156 155	154 153	152 151	150 149	148 147	146 145	144 143	142 141	140 139	138 137	136 135	134 133	132 131	130 129	128 127	126 125	124 123																				
※157号よりA4判フルカラー	特集…創立70周年記念①	特集…宇宙	特集…誤植(タイプミス)と誤変換	特集…日本の世界遺産	特集…旧暦ライフを楽しむ	特集…体に良い「水」の飲み方・選び方	特集…食を見直そう	特集…病は気象からく気象と健康のつながりく	特集…知ってる?! 都道府県の成り立ちと県民性	特集…上司が薦める「わが一冊」	特集…仏像、大好き!	特集…おもしろ検定・資格アレコレ	特集…名字と名前	創業者・市村清没後40年記念法要	特集…わが家(私)の省エネ作戦	特集…江戸しぐさ	特集…暮らしと地球環境第2弾! 私たちができることは何か?	特集…若い世代のための「老後を考える」	特集…創業家・市村清生誕100年記念	特集…創業家・市村清生誕100年記念行事	特集…「すてきな時間」映画・映画音楽編	特集…防犯あなただはどうしてる?	特集…やる気を高める	特集…日本語っておもしろい	特集…泣く 涙でストレス解消 脳をリセット	特集…「笑い」笑いで心も体も豊かに	特集…「三善信」一名譽会長逝去	特集…「心と体の健康を考える」	特集…「育てる」	特集…「どうしたらいい、個人資産管理」	特集…「整理ー取つく・技術・捨てる技術ー」	特集…「ステキに生きる」	特集…「マナー」	特集…「どうしてですか? 防犯対策」	特集…「やってみようかな? ボランティア」	特集…「1丁時代のバーソナルコミュニケーション」	創業家33回忌法要と偲ぶ会

No. 157
2016

特集・創立70周年記念 (三愛会の歴史)

No. 158
2016

特集・創立70周年記念 (『三愛会会誌』の流れから見る)

三愛会が創立70周年を迎え、『三愛会会誌』を2号にわたり記念号とした(A4・フルカラー版に刷新)。第157号は、市村清の生涯を柱に三愛会の歴史や主な歴史トピックスを紹介、第158号には三愛会常任理事からのメッセージや、『三愛会会誌』の歴史、記念作文の入選作品などが掲載された。



No. 161
2018

市村清没後50年特別号 特集・人間・市村清

市村清が没して50年の節目の年にあたり、創業者を偲ぶとともに改めて創業者の人となりを振り返る特別号を発行した。

プロフィール、家系図、交遊録、愛用品、未発表の写真等々を通して、市村の実像に迫る内容となっている。また、全国各地に建つ市村の銅像も紹介されている。



No. 171
2023

特集・「三愛ドリームセンター」60年の軌跡

特集・落成から60年の軌跡

市村記念体育館 (旧佐賀県体育館)

市村の数ある功績の中で、特に長年にわたって多くの人たちが愛され、親しまれてきた二つの建物、「三愛ドリームセンター」(1963年1月オープン)と「市村記念体育館(旧佐賀県体育館)」(1963年3月、市村が佐賀県に寄贈)が、いずれも建設から60年を機にリニューアルが決定した。第171、172号では、その60年の歴史を貴重な写真とともに振り返る。



『三愛会会誌』

'24 (R 6)	'23 (R 5)	'22 (R 4)	'21 (R 3)	'20 (R 2)	'19 (H31/R 1)	'18 (H30)	'17 (H29)	'16 (H28)	西暦 (元号)
173	172	171	170	169	168	167	166	165	164
特集・『三愛会会誌』復刊(1954年)から70年の歩み	三愛会第5代会長桜井正光氏逝去	特集・落成から60年の軌跡 市村記念体育館(旧佐賀県体育館)	特集・「三愛ドリームセンター」60年の軌跡	特集・一度は棄ててみたいーおすめローカル線	特集・水害 なぜ起こる? どう備える?	今さら聞けない「感染症ってなに?」	特集・細菌とウイルスの基礎知識	東京2020オリンピック・パラリンピックの今昔物語	『オリンピック・パラリンピックの歴史』
東京2020オリンピック・パラリンピックシリーズ②	東京2020オリンピック・パラリンピックの今昔物語	東京2020オリンピック・パラリンピックシリーズ③	『試練を乗り越えてアスリートたちの挑戦』	東京2020オリンピック・パラリンピックシリーズ①	特集・新しい仲間	特集・ラグビー その歴史と魅力	市村清没後50年特別号 特集・市村清 記念イベントレポート	市村清没後50年特別号 特集・人間・市村清	特集・睡眠 良い睡眠があつて、良い覚醒がある
特集・知れば知るほどスゴイ!発酵食品	特集・創立70周年記念②	特集・創立70周年記念①	市村清没後50年特別号 特集・人間・市村清	市村清没後50年特別号 特集・市村清 記念イベントレポート	市村清没後50年特別号 特集・市村清 記念イベントレポート	市村清没後50年特別号 特集・市村清 記念イベントレポート	市村清没後50年特別号 特集・市村清 記念イベントレポート	市村清没後50年特別号 特集・市村清 記念イベントレポート	市村清没後50年特別号 特集・市村清 記念イベントレポート

市村清のレガシーが詰まった『三愛会会誌』の復刊から70年の歩みを駆け足でご紹介しましたが、いかがでしたでしょうか。過去の表紙や誌面のレイアウトは、今見ても斬新でエッジが効いています。

草創期の会誌は市村の所信や経営方針、各社の経営情報などのほか、市村と親交のあった方たちとの対談やコラムなど、盛りだくさんでした。

その後、社員による座談会や各社の広告が登場し、毎号世間の状況や関心事に合わせたテーマを設けて特集を組むなど活気あふれた成長期を経て、「創業者・市村清物語」など数多くの長寿シリーズが定着、さらに誌面をフルカラー化するなど『三愛会会誌』は常に向上を目指してきました。

これからも、会員会社社員の皆さまにとって役立つコミュニケーションツールであり続けたいと思っていますので、楽しみにしてください。

リコー／リコーインダストリー

リコーグループの2事業所が GOOD FACTORY 賞を受賞

一般社団法人日本能率協会の「第12回 2024 GOOD FACTORY 賞」において、リコー環境事業開発センターとリコーインダストリー 東北事業所が「ファクトリーマネジメント賞」を受賞しました。昨年、リコーグループとして初めて受賞した沼津事業所に続き、今年は受賞企業9社（工場）のうち2つがリコーグループの事業所となりました。

「GOOD FACTORY 賞」は、日本および中国・アジア地域で、工場の生産性向上、品質向上をはじめさまざまな体質革新活動へ取り組んでいる事例に着目し、そのプロセスや成功要因、現場の知恵、働く方々の意識改革、社会的貢献などの内容を幅広く取り上げ、その成果を日本製造業の範として表彰するものです。今回受賞した2事業所は共に、総合的に“工場運営”のレベルが高く、全体にバランスの取れた“工場運営”の良さが評価され、「ファクトリーマネジメント賞」を受賞しました。



表彰式に参加した、リコー環境事業開発センターとリコーインダストリー 東北事業所の皆さん

リコー

環境配慮型複合機が「地球環境大賞」の「経済産業大臣賞」を受賞

フルカラー複合機「RICOH IM C6010/C5510/C4510/C3510/C3010/C2510/C2010」が、地球温暖化防止や持続可能な開発目標（SDGs）の達成に取り組み、成果を挙げている企業などを表彰する第32回「地球環境大賞」で「経済産業大臣賞」を受賞しました。

リコーは、1994年に循環型社会実現のための独自コンセプト「コメットサークル」を発表。1998年に「環境経営」を提唱し、2017年に日本企業初のRE100参加を宣言するなど、長年にわたりサステナビリティ活動を継続しています。2023年2月、その集大成ともいえる環境配慮型複合機7機種を発売。A3複合機で業界トップ（発売当時）となるプラスチック回収材の使用率約50%の実現、低融点トナーの採用による消費電力の低減などで、ライフサイクル全体のカーボンフットプリントを前身機より削減し、サーキュラーエコノミー時代のものづくりが評価されました。



授賞式に参加した左から、山下会長、大山社長、RDPビジネスユニット 中田プレジデント

リコー

独 AI 企業の買収で強化したプロセスオートメーションをメディアに紹介

4月22日、デジタルサービスの会社への変革を進める戦略の注力領域である「プロセスオートメーション」の強化に向けた成長投資の一環として、AIを活用した画像認識やOCR技術に強みを持つドイツのスタートアップ企業、「Natif.ai」の全株式を取得し、完全子会社化したと発表しました。これを受けて同日、リコーデジタルサービスビジネスユニット（以下、RDS BU）が取り組む、プロセスオートメーション戦略とAI活用を主要メディアに紹介する説明会を、品川のRICOH BUSINESS INNOVATION LOUNGE TOKYOとオンライン配信のハイブリッド形式で開催。RDSの入佐孝宏 BU プレジデントと、デジタルサービス事業本部 プロセスオートメーション事業センター 高松太郎所長が登壇し、リコーを担当する主要メディアの記者やIT・DX・AI関連の専門Webメディアの記者、計31名が参加しました。



主要メディアの記者に説明する RDS ビジネスユニット入佐プレジデント（左）

リコー

将棋部が内閣総理大臣杯を獲得！

5月26日に「アリーナ立川立飛」（東京都立川市）で「内閣総理大臣杯 第125回 職域団体対抗将棋大会」が開催され、リコー将棋部から出場した「リコー（1）」チームが最上位クラスのS級で優勝し、内閣総理大臣杯を手に入れました。

毎年春と秋に行われる「職域団体対抗将棋大会」は、同一職場から5人でチームを組み、SからFまで7つのクラスに分かれて戦い、将棋の企業日本一を決定する大会です。今大会には392チームが出場。リコーは12チームからなる最上位クラスのS級に3つのチームが参加し、決勝で「リコー（1）」チームが「トリプルアイズ（1）」に3-2で勝利して優勝。昨年、リコーの10連覇を阻んだ宿敵を相手に見事雪辱を果たし、3大会ぶり（1年半ぶり）の優勝となりました。また、「リコー（2）」チームは3位、「リコー（3）」チームもS級残留と、参加チームすべてが素晴らしい結果を残しました。



優勝した「リコー（1）」チームの皆さん

リコー

「勤労感謝の日」の広告が BtoB 広告賞金賞を受賞

2023年の「勤労感謝の日」に実施した新聞広告「いい未来へ。」が、一般社団法人日本 BtoB 広告協会主催「第45回日本 BtoB 広告賞」の「新聞広告の部」で「金賞」を受賞しました。この広告賞は BtoB 広告の普及、振興を目的に、優れた企業コミュニケーション活動と、制作にかかわる総合技術を17部門で評価するものです。

はたらく一人ひとりが、人ならではの創造性を発揮すること。そして、はたらくことを通して、社会や環境に良いインパクトを与えること。はたらく人たちを、世界を、より良くしていくこと。それはきっと「いい未来」につながる――、との思いから、「人」にフォーカスした全面広告と、「社会・環境」にフォーカスした全面広告を掲載。その2面を半分ずつ重ねると「いい未来へ。」というメッセージが浮かび上がる表現を採用しました。2つのテーマ設定、クリエイティブの遊び心、紙媒体ならではの工夫などが評価されました。



「金賞」を受賞した2023年の「勤労感謝の日」の新聞広告「いい未来へ。」

リコー

市村自然塾 関東での楽しい茶摘みとお茶作り体験

リコー三愛グループ創業者・市村清の生誕100年を記念して設立した「市村自然塾 関東」（神奈川県足柄上郡）では、令和6年度の塾生（23期生）32名が元気に活動中です。

5月上旬から中旬にかけて「茶摘み」が行われました。青々とした茶畑に足を踏み入れ、スタッフによる熱心な指導のもと、皆が一心に手を動かす姿はまるで絵画のようでした。摘んだ茶葉はホットプレートで簡易的にお茶にしました。最初は生の葉の爽やかな香りが漂いましたが、次第に煎茶の深い香り変わっていくのが感じられました。塾生たちも目を輝かせながら、自分たちで摘んだ茶葉がお茶になる過程を楽しんでいました。

市村自然塾 関東では、設立20周年を機にスタートした自然塾ファミリー構想の一環として、活動に賛同し、応援してくださる「賛助会員」を募集しています。また、来年度向けの見学会参加者も募集中です。詳しくは市村自然塾 関東のWebサイトをご覧ください。

<https://www.szj.jp/>



自分たちで摘んだ茶葉をホットプレートで煎じる塾生たち。「いい香りがしてきた！」

リコー

ブラックラムズ東京の若手 8 選手、海外留学に挑戦中！

ブラックラムズ東京は NTT ジャパンラグビー リーグワン 2023-24 シーズンを D1 10 位で終え、D2 との入替戦に挑みました。NEC グリーンロケッツ東葛（D2 3 位）との入替戦に快勝し、無事に D1 残留となりました。

今シーズンも熱い応援をありがとうございました。

オフシーズンは若手選手が海外留学に挑戦中！オーストラリア・キャンベラに飛び立った津村大志選手・山本嶺二郎選手・山本秀選手・木原音弥選手・中楠一期選手の 5 名は、さっそく現地チームの試合に出場。伊藤耕太郎選手・高本とむ選手もニュージーランド・ネイピアのチームで活動中です。海外でスキルアップに励む選手たちの成長をお楽しみに！（大内真選手はニュージーランド・クライストチャーチに留学）

※ブラックラムズ東京公式 HP では海外留学レポートを掲載中です。

<https://blackrams-tokyo.com/news/team/index.html>



海外留学に挑戦する 8 名の選手たち

リコークリエイティブサービス

OB/OG 向けの RCS セミナー！リクエスト募集！

リコーグループの福利厚生制度保険を取り扱っているライフサポート事業部では、リコーグループ社員向けに、マネーや防災などのセミナーを実施しています。「わかりやすく実践的な内容だった！」「将来への不安が少し和らいだ！」などの声が聞かれ、大変好評を博しております。

近年、社会情勢の変化やライフプランの多様化に伴い、個人スキルへの重要性が高まっていることから、OB/OG の皆さまに向けたセミナーも、今後は計画していきたいと考えております。

将来への不安解消につながるようなテーマを取り上げて、スキルアップや生活向上に役立つセミナーを開催していく予定ですので、OB/OG の皆さまの声（リクエスト）をヒアリングさせてください！

セミナーのリクエストは、二次元バーコードをスマートフォンで読み込んで、簡単なフォームからご記入いただけます。



〈お問い合わせ先〉 ライフサポート事業部 営業推進室 zjp_sales_promotion@jp.ricoh.com

リコークリエイティブサービス

住まい探しの第一歩 「リコー三愛グループ 住まいの法人提携制度」を活用ください

そろそろ「住まい」のことも考え始めたい・・・きっかけづくりに「紹介カード」のご利用を。

全国の法人提携企業約 150 社の割引・優遇制度をご活用ください。

例えば・・・ ●新築マンション（価格 5000 万円）を購入 ⇒ 1%の割引物件 → 50 万円の割引特典

●注文住宅（工事価格 3000 万円）で建築 ⇒ 3%割引の会社 → 90 万円の割引特典

制度適用には提携会社に「初めて」問い合わせをする前に当社発行の「紹介カード」提出が必要です！

① 住まいを考え始めたら → Web サイト「RNAVI」で検索！ 提携会社を確認 →

② 気になる会社・物件を見つけたら → 「紹介カード」発券申請

〈制度に関するお問い合わせ・不動産に関わる相談〉

ファシリティマネジメント事業本部 CRE 部 担当：田中 電話：080-2004-5712



三愛オブリ

「吉野川流域における協働の川づくりパートナーズ協定」を締結

三愛オブリは、高知県れいほく地域集落活動センター連絡協議会および高知県内の自治体5者（高知県長岡郡本山町、高知県長岡郡大豊町、高知県土佐郡土佐町、高知県土佐郡大川村、高知県）との間において、「吉野川流域における協働の川づくりパートナーズ協定」を締結しました。

本協定の協定期間は2024年4月からの3年間で、吉野川流域では初となる取り組みです。地域の維持・再生に取り組む集落活動センターや流域の自治体と連携することで、それぞれの地域に根差した清流保全活動（河川的环境整備、里山づくり、環境学習、交流活動、清流PR活動など）を推進していきます。



「吉野川流域における協働の川づくりパートナーズ協定」締結式（高知県庁にて）

リコーエレメックス

富永 康一郎 代表取締役 社長執行役員が就任

4月1日、リコーエレメックスは富永 康一郎 取締役が代表取締役 社長執行役員に就任し、新たな体制がスタートしました。

富永社長は就任にあたり、生産拠点である本社・岡崎事業所（愛知県岡崎市）、恵那事業所（岐阜県恵那市）それぞれで、社員を前に「『QCDの総合力で差別化できる、もの作りのプロ集団』『特に品質で、世の中に無くてはならない会社』を目指します」と思いを示しました。

また「『顧客、スピード、事実、頻繁で透明なコミュニケーション、ディスカッション』を重視した経営を進めていきます。皆さん、ともに会社の成長を実現させましょう」と呼び掛けました。



リコーリース／テクノレント

本社機能を新事業所に移転

2024年2月26日より、新事業所に本社機能を移し、営業を開始しました。

人員増加やコロナ禍以降の社員の出勤率増加により、事業所が手狭になったことを背景に、引き続き社員の多様な働き方を支援していくための施策として移転しました。グループ会社のテクノレントも同フロアに移転しており、中期経営計画で重点分野に掲げる as a Service 分野の営業強化につなげていきます。



受付



リフレッシュルーム：
グループ社員が集う憩いの場

〈新事業所〉 所在地：東京都港区東新橋1丁目5番2号 汐留シティセンター19階

三愛会・創業者市村清顕彰活動 その1

「三愛会 支部交流会」を開催 ～創業者・市村清ゆかりの地巡りと懇親会～

3月1日、三愛会主催の「支部交流会」を開催しました。これは創業者・市村清および三愛会の活動をもっと理解していただき、さらに各支部同士の交流を図り、今後の活動につなげていくことを目的としたもので、全8支部から支部長など代表者15名が参加しました。

ゆかりの地を巡る「第1部」では、市村が眠る「賢崇寺（元麻布）」の墓参からスタートして、都内に点在するゆかりの地「市村清新技術財団（旧市村邸）」、「リコー本社（市村清銅像）」、「三愛オブリ（羽田空港内）」などを訪ねながら、市村の思いに触れました。

「第2部」の懇親会の会場は、市村が戦後まもなく再建に携わった明治記念館。三愛会山下会長はじめ常任理事の皆さんも参加して、支部の現況や今後の活動計画などについて意見交換し、三愛会の結束を深めました。

初開催の催しでしたが、ご参加いただいた皆さんは普段話す機会の少ない方々とも積極的に懇親を深められたようで、意義深いものとなりました。



墓参の様子



三愛オブリ 航空事業部（羽田空港内）を見学



リコー本社 市村清銅像前にて



懇親会会場となった明治記念館にて



懇親会最後は一本締めで盛会にて終了



挨拶する三愛会山下会長

ご参加いただいた皆さまのご感想（一部抜粋）

【第1部について】

- 三愛オブリさまに見学でお伺いした際、事業内容の素晴らしさおよび通常であれば体験できない見学内容（空港内）の貴重さに、感銘いたしました。日頃接する機会が少ない会員企業同士、お互いを知る場を定期的に設けられればと思いました。
- 市村清創業者の墓前にお参りするの初めてでしたが、改めて創業者の偉大さを認識し、身が引き締まる思いでした。また、三愛オブリの皆さまには貴重な体験をさせていただき、気付き多い視察となり感謝しております。

【第2部について】

- 何よりも各支部の支部長、幹部の方々と交流ができたことが一番です。直接業務では関係せずとも共通の業務や人脈でつながっていた方々も多かったです。明治記念館と市村清の関係も初めて理解できました。
- 座席決定が抽選式というのが新鮮でした。日頃は、格やポジションで席次が決まっているケースが多いので、貴重な機会となりました。

【全体を通して】

- 今まで創業者のお墓参りもせずに、何十年もリコーで働いていたことが不思議で、今回それに気が付いたので、せめて創業者の生誕の日または命日を大きく明確にして、その日に会社の中にある市村清の写真の前で手を合わせるくらいは、会社の中でマナー化したいと思います。
- 普段なかなかお会いできない各支部の方々と交流できる貴重な機会を頂きありがとうございました。
- 三愛会は、創業者がご縁の会だとは思いますが、会員企業の交流の際には、創業者ゆかりの場所・行事にこだわる必要はあまり無いのではないかと考えています。ざっくばらんにお互いを知る場であったり、ビジネス面での連携強化を探る場として、今後有意義な交流を図っていきたいと思います。
- 終始和やかなムードで、日ごろできない体験をさせていただくことができとても充実した1日でした。1日の中で各地のいろいろな方と交流できたことも良い経験になりました。

三愛会・創業者市村清顕彰活動 その2

エフエム佐賀・特別企画

リコー三愛グループ三愛会 presents 「市村清 ふるさと佐賀の足跡」 放送終了

エフエム佐賀では、特別企画として1月から3月までの期間に13回にわたり「市村清 ふるさと佐賀の足跡」を放送しました。

この番組は、架空の大学生市川清史朗が、ゼミの課題で市村清を取り上げることになり、市村清がふるさと佐賀に残したゆかりの地を巡る中でさまざまな人々と出会い、学んでいく…というストーリーになっていて、市村記念公園（生家跡）や北茂安小学校、市村記念体育館や佐賀醤油、サガテレビなど市村清とのつながりの深いゆかりの地が次々と登場し、毎回リスナーを楽しませてくれました。

放送後、番組を聞いた感想がエフエム佐賀にたくさん寄せられましたのでその一部をご紹介します。

- ラジオドラマ仕立てで素朴な雰囲気の中、短い時間でしたが主人公目線で同じようにこちらもちよとした冒険をしている気持ちになれました。不勉強なので市村清という方は存じ上げなかったのですが、これから調べて次の物語の予習をしたいです。
- 佐賀の偉人。拝聴するたびにすごさが人生のお手本になる。
- 人が思いつかない所に目を向けた市村さん、努力の人だと思いました。
- 前回のシリーズの時も思いましたが、市村清さんはあれもこれもという感じで貢献されている。もっともっと有名であるべき、というより有名でないのが不思議でなりません。
- 市村さんの功績に触れて、市村さんが佐賀を思い佐賀に遺して下さった物心両面のさまざまなことを通して市村さんの思いは語り継がれていくと思います。
- 佐賀弁のラジオドラマ形式で、親しみやすく聞くことができました。また、千栗八幡宮と市村清さんの意外な関係が知れてよかったです。
- 日曜日にカーラジオで聞いています。市村記念体育館は学生時代によく利用していました。その頃は市村清という人物がいると知りませんでした。この番組で経歴を詳しく知ることができ勉強になっています。
- 毎週驚かされる内容ですが、料亭まで…。市村さんが関わっていない分野ってあるんでしょうか？！
- 学生旅行で初めて佐賀を訪れました。たまたま聞いた番組ですが、とても楽しかったです。
- 平日の移動の時に聞いています。耳に優しく楽しく、パーソナリティーさんの個性もいろいろでいいです。

※三愛会のホームページでは、番組の音声だけでなくテキストデータも合わせて公開していますので ぜひご視聴ください。

「市村清 ふるさと佐賀の足跡」→ <https://www.san-ai-kai.jp/ichimura/gallery.html>



創業者墓参

三愛会では、リコー三愛グループ創業者・市村清の墓参（東京都港区元麻布・賢崇寺）を年4回実施しています。

3月18日に春の墓参、7月12日にお盆のお墓参りを行いました。



春の墓参

市村清の新たな動画を公開

「市村記念体育館～事業家 市村清が残した故郷への贈り物～」 「市村清 ゆかりの地を巡る 佐賀の旅」

市村が佐賀県に寄贈した「市村記念体育館」の全容を紹介した『市村記念体育館～事業家 市村清が残した故郷への贈り物～』、市村が苦難を乗り越え20世紀を代表する事業家として成功するまでの軌跡と、生まれ故郷・みやき町や佐賀市内のゆかりの地を紹介した『市村清 ゆかりの地を巡る 佐賀の旅』の2編の動画を三愛会ホームページに公開しました。ぜひご視聴ください。

URL <https://san-ai-kai.jp/>



支部の活動報告

近畿支部 2024 年度総会開催

2月2日、事務局を含む13名の幹部の方々が参加し、新大阪ワシントンホテルプラザにて2024年度の近畿支部総会と懇親会が開催されました。



神奈川・東静岡支部 2023 年度新年懇親会を開催

2月9日、28名の幹部の皆さんが出席して神奈川・東静岡支部の新年懇親会を開催。第1部としてリコーの沼津事業所を見学し、その後、第2部で支部の活動報告を含めた懇親会を行いました。



中国支部 2024 年度定例総会・懇親会開催

中国支部では、4月16日に7名の幹部の皆さまにご参加いただき、定例総会と懇親会をホテルグランヴィア広島にて開催しました。当日はお互いに近況報告をするなど終始和やかな会となりました。



東京支部 2024 年度東京支部総会を開催

4月24日、東京支部の2024年度総会がリコージャパン本社にて実施されました。当日は事務局を含む17名の方々が出席し、2023年度の事業報告や2024年度の行事計画案などが話し合われました。



九州支部 新年度会を開催

5月21日、佐賀駅近くのホテルグランデはぐれにて新年度会を開催しました。当日は17名の幹部の方々が参加して、お互いの近況や今後の見通しなどの情報交換が行われました。



「三愛会社友会」（リコー三愛グループOB会）入会のご案内

「三愛会社友会」はリコー三愛グループ出身者のOB会です。現在、約550人の会員がサークル活動やイベントをいきいきと楽しんでいます。ぜひあなたも社友会に入会して、シニアライフを楽しく過ごしてみませんか？

- 入会資格：三愛会会員会社の定年退職者（20年以上勤続もしくは会員2名以上の推薦）
- 入会金：3,000円 ■年会費：3,000円（7月以降入会は、当年度会費1,500円）
- 入会方法：各社人事総務で担当者、または三愛会社友会（070-4418-0126）へお問い合わせください。



スキーサークル
長野県斑尾高原スキー（2024年2月）



俳句サークル
定例会（2024年5月）



スケッチ画サークル
三水会&一心会 合同展（2024年6月）

社友会の12サークル

●散策 ●ハイキング ●ゴルフ ●テニス ●スキー ●健康麻雀 ●囲碁・将棋 ●俳句 ●尺八 ●カメラ ●お蕎麦の会 ●スケッチ画

愛の手委員会からのお知らせ

愛の手委員会では、「愛の手募金」などリコー三愛グループ各社の社員の皆さまからいただいた浄財を、毎年12月に「年末プレゼント」、3月に「入進学祝金」として対象のお子さんに贈呈しています。

愛の手の対象となるのは下記の方々になります。対象になるかどうか知りたい、詳しく知りたい方は愛の手委員会事務局へお問い合わせください。

1. 在職中に死亡した社員が扶養していたお子さん
2. 在職中に重度障がい者となったため退職した社員が扶養していたお子さん
3. 社員が扶養する重度障がいを持つと認定されたお子さん

※いずれも対象となるお子さんは18歳未満（高校卒業）まで

※2、3に該当する方はご自身による申請が必要です。詳しくは事務局までご連絡ください。



お子さんからのお礼のお手紙

【問い合わせ先】リコー三愛グループ愛の手委員会 事務局 担当：松野

E-mail: nahoko.matsuno@jp.ricoh.com TEL: 070-4404-9783

三愛会カレンダー〈2024年8月～2025年1月〉

※2024年7月1日現在

三愛会全体

- 8月 三愛会理事会
- 9月 三愛会常任理事会
- 11月～ 愛の手募金強化期間
- 12月 創業者祥月命日・墓参

2025年

- 1月 『三愛会会誌』第174号発行

支部

- 8月 東京支部 幹部ビアパーティー
- 9月 東京支部 ビアパーティー（予定）
（旧ヤング三愛会）
- 北海道支部 ビアパーティー
- 10月 東京支部
市村清ゆかりの地を巡るツアー（予定）

2025年

- 1月 各支部新年会（予定）

Web アンケート より良い紙面づくりにご協力ください

三愛会会員会社の皆さまに、本誌の満足度と今後について、Webアンケート調査を実施します。

パソコンやスマートフォンで、下記QRコードまたはアドレスにアクセスして、アンケートにご回答ください。

<https://jp.surveymonkey.com/r/SAN-AI173>

アンケート実施期間

8月1日（木）～9月30日（月）

※抽選で記念品を差し上げます。



後日、三愛会がランダムに抽出した三愛会会員各社社員の方々にも本アンケートのお願いをメールで送らせていただく予定です。ご協力をよろしくお願いいたします。

『三愛会会誌』 編集委員

星 谷	のり	こ	
岩 田	紀	ゆき	(リコー)
あ い	敏	幸	(リコー) ※リコーエレメックス担当
ず ま	ゆ	み	(三愛オブリ)
東 田	裕	見	(リコーリース)
くら 田	もと	こ	
倉 た	元	子	(リコークリエイティブサービス)
たけ 田	ち	尋	
竹			

編集後記

『三愛会会誌』は、三愛会の歴史と共に歩み続けて今年で70年。これだけ長く続いている機関誌はまれなのではないでしょうか。バックナンバーをたどれば、会員会社内の過去の出来事を知ることができます。“社員の奥様による手作りお弁当紹介”“各社の制服紹介”“いきいき！ヤング紹介”など、楽しいコーナーもたくさんありました。今回ご紹介できなかった特集やトピックスも、いつか誌面で取り上げてみたいです。

なお、来年は創業者・市村清の生誕125年です。

これからも本誌を通して市村イズムを皆さんにお伝えしていきたいと思っています。(E子)

● 会長就任挨拶
* 創業者の思いを伝承していくのも大変なことだろうと思います。でも山下会長は休日には犬の散歩をされるなど、とても身近な感じがして親しみやすさを感じました。

● 特集・市村記念体育館（旧佐賀県体育館）落成から60年の軌跡
* 佐賀維新博には私も行きましたが、現代のテクノロジーを使って佐賀の歴史を分かりやすく紹介したので楽しかったです。(リコー)
* 体育館らしからぬデザインが素晴らしい。(リコージャパン)
* まだ生まれてもない時代背景を垣間見られ、さらなる興味がフツフツと込み上げてきました。(三愛オブリガスサービス九州)
* 写真も多く説明も分かりやすかった。佐賀に根付く歴史がよく分かりました。(リコークリエイティブサービス)

● その他
* グループ会社の情報を知ることができるので楽しみにしています。(リコージャパン)
* 三愛会プラザを読んで、市村清氏の「世のため人のため」という思想が好きです。(リコージャパン)

『三愛会会誌172号』（特集：市村記念体育館（旧佐賀県体育館）落成から60年の軌跡）へのウェブアンケートにたくさんの方からご意見・ご感想をいただきました。ご協力ありがとうございました。その中から一部をご紹介します。

リコー三愛グループ 三愛会会員会社一覧

本社のみ掲載 40社・団体 太字は三愛会・常任理事会社
(2024年7月1日現在)

会社（団体）名	所在地 ※ビル名は省略	電話番号	事業内容
三愛会	東京都大田区中馬込1-3-6	050-3534-3401	会員会社・社員の福利厚生・親睦・文化活動等
リコーグループ			
(株)リコー	東京都大田区中馬込1-3-6	03-3777-8111	画像機器の製造・販売およびソリューションサービスの提供
リコージャパン(株)	東京都港区芝3-8-2	050-3534-0800	さまざまな業種におけるお客様の経営課題や業務課題の解決を支援する各種ソリューションの提供
迫リコー(株)	宮城県登米市迫町佐沼字北散田86	0220-22-4431	OA機器製造、精密金属部品の工法開発から製造
リコーインダストリー(株)	神奈川県厚木市下荻野1005	046-243-1210	事務機器、光学機器、印刷機器、機械装置等の製造とこれらの消耗品の製造ならびに販売など
エトリア(株)	神奈川県横浜市西区高島1-2-5	050-3814-7000	事務機器・産業機器・光学機器及びその周辺機器・消耗品等の開発・生産・販売等
リコークリエイティブサービス(株)	東京都大田区中馬込1-3-6	03-3777-2685	事業所運営事業、厚生支援事業、ビジネス支援事業など
リコーインダストリアルソリューションズ(株)	東京都大田区中馬込1-3-6	050-3817-3333	精密機器、製造・検査装置、材料・部品、ソフトウェア・システム等の開発、設計、製造、販売、サービス
リコーITソリューションズ(株)	神奈川県横浜市都筑区新栄町16-1	050-3817-3900	ソリューションサービス事業、リコーグループ社内ITシステム事業
リコーテクノリサーチ(株)	神奈川県海老名市泉2-7-1	046-292-5372	特許調査・外国出願（米欧中韓の翻訳）・特許管理
リコーデジタルペインティング(株)	東京都町田市小山町800-5	042-751-6110	プリンター、インク／塗料の製造・販売
リコーエスポアール(株)	神奈川県厚木市下荻野1005	046-243-1590	アフターサービス用部品の包装、梱包業務、部品の組み立て、リサイクル業務など
三愛オブリグループ			
三愛オブリ(株)	東京都千代田区大手町2-3-2	03-6880-3100	石油製品およびL Pガス等の販売、航空燃料取扱業
キグナス石油(株)	東京都千代田区大手町2-3-2	03-5204-1600	石油類、石油化学製品の売買
佐賀ガス(株)	佐賀県佐賀市兵庫町大字西洲1996	0952-30-6161	都市ガス供給事業、ガス器具等の小売販売
三愛リテールサービス(株)	東京都品川区東大井5-22-5	03-6810-3900	石油製品等の販売
三愛オブリガス東日本(株)	東京都品川区東大井5-22-5	03-6864-1833	LPガス・ガス器具等卸売・小売販売など
三愛オブリテック(株)	東京都品川区東大井5-22-5	03-6864-1850	CT事業、建設事業
三愛オブリガス九州(株)	福岡県福岡市博多区冷泉町5-32	092-291-1731	LPガス・ガス器具等卸売・小売販売など
三愛オブリガス中国(株)	岡山県倉敷市中庄2230-7	086-461-0160	LPガス・ガス器具等卸売・小売販売など
三愛オブリガスサービス中国(株)	岡山県倉敷市中庄2230-7	086-461-0164	LPガスの配送・充填
三愛オブリガス三神(株)	佐賀県神埼市神埼町本堀3003-6	0952-53-1221	LPガス・ガス器具等の小売販売、建設業
三愛オブリカスタマーサービス(株)	高知県高知市本町4-2-52	088-888-7200	石油関連製品等の受発注業
三愛オブリガスサービス九州(株)	福岡県福岡市博多区冷泉町5-32	092-291-1750	LPガスの配送・充填
(株)トスプロ	佐賀県鳥栖市儀徳町2927-1	0942-83-3059	LPガス・ガス器具等の小売販売
リコーエレメックスグループ			
リコーエレメックス(株)	愛知県岡崎市井田町3-69	0564-23-5111	精密加工部品、産業機器、OA機器関連等の製造・販売
リコーエレメックスエーティー(株)	岐阜県恵那市長島町中野1218-2	0573-25-8524	精密加工部品等の製造・販売
リコーリースグループ			
リコーリース(株)	東京都港区東新橋1-5-2	03-6204-0700	リース&ファイナンス事業、サービス事業、インベストメント事業
テクノレント(株)	東京都港区東新橋1-5-2	03-6863-2700	各種計測器、IT機器のレンタル、計測・機器点検等の受託技術サービス、各種機器の販売など
その他の会社・団体			
(株)サガテレビ	佐賀県佐賀市城内1-6-10	0952-23-9111	放送法に基づく放送事業、メディア事業、その他の放送関連事業
(株)西銀座デパート	東京都中央区銀座4-1先	03-3566-4008	不動産賃貸業及び商業施設運営管理
(株)エフエム佐賀	佐賀県佐賀市本庄町大字袋286-5	0952-25-7790	放送法に基づく超短波放送事業、その他の放送関連事業
瀬の本高原リゾート(株)	熊本県阿蘇郡南小国町満願寺5621-7	0967-44-0513	観光ホテル、ドライブイン等の運営
日清紡マイクロデバイス(株)	東京都中央区日本橋横山町3番10号	03-5642-8222	電子デバイス製品・マイクロ波製品の設計および製造・販売
SBSリコーロジスティクス(株)	東京都新宿区西新宿8-17-1	03-6772-8202	国内物流、国際物流に関するトータルソリューション事業
SBS三愛ロジスティクス(株)	東京都新宿区西新宿8-17-1	03-6772-8203	地域における物流トータルソリューション事業
佐屋醤油(株)	佐賀県佐賀市唐人1-1-16	0952-23-4624	醤油製造業、駐車場業、保険代理業
リコー三愛グループ健康保険組合	東京都品川区南品川6-11-6	03-3740-4881	加入会社社員・家族の医療給付と保険事業
公益財団法人 市村清新技術財団	東京都大田区北馬込1-26-10	03-3775-2021	新技術開発助成、市村賞贈呈、植物研究助成、少女少女創造性育成、地球環境研究助成、市村賞受賞記念フォーラム
リコーグループ福祉会	東京都大田区中馬込1-3-6	03-3777-4278	リコーグループ各社への共済事業

RICOH
imagine. change.

“はたらく”に、
喜びを。



私たちのサービスが実現するのは、好きな時に、好きな場所で、自由にはたらける世界。
はたらく人、場所、ワークフローが自在につながり、人間らしい想像力が発揮される未来。
そして、“はたらく”の変革に実現する、持続可能な社会。
リコーは、あるべき未来を思い描き、今をかえていきます。

はたらく喜びを、生きる喜びへ、つないでいくために。

<https://jp.ricoh.com>

株式会社リコー 〒143-8555 東京都大田区中馬込1-3-6